

令和 5 年度 大阪府大阪市医療・病床懇話会における主な意見（概要）

開催日時：令和 6 年 1 月 19 日 場所：J:COM 中央区民センター

1 第 8 次大阪府医療計画に関する意見

【災害医療】

○災害時に備えた医療体制整備として医療機関における非常用電源の確保は非常に重要であるため、有床診療所も含めた病院、特に救急病院について、非常用自家発電設備の整備等への直接的な支援をお願いしたい。

2 地域医療構想の推進に関する意見

【全体】

○特になし

【各病院の対応方針（病院プランにおける 2025 年に検討している病床機能等）】

（1）公立・公的病院

●特になし

（2）その他、民間病院等

●協和病院（都島区）：

（病院への意見）

10床以上の過剰病床への転換計画であるため、保健医療連絡協議会（地域医療構想調整会議）で議論する必要がある。

●医誠会病院・城東中央病院（（現）医誠会国際総合病院）：

（病院への意見）

- ・城東中央病院においては、回復期・慢性期の病床を急性期病床へ転換した上で、2022年 9 月には全病棟を急性期一般入院料 1 に変更しているが、大阪府の文書要請にも応じていない。
- ・GCU 等の病床機能を持つ高度急性期病床を運営するということであるが、確実に人員配置されるのか、保健医療連絡協議会にて病院からも現在の状況等について説明を求めたい。
- ・10 床以上の過剰病床への転換計画であり、大阪市北部及び大阪市二次医療圏として地域医療構想における病床機能分化・連携において問題であるため、保健医療連絡協議会にて継続して議論していただきたい。

【保健医療連絡協議会において対応方針について説明を依頼する病院】

●協和病院（都島区）

●医誠会病院・城東中央病院（（現）医誠会国際総合病院（北区））

【重点支援区域の申請（申請しないことについて）】

特になし。

【病床機能再編支援事業申請医療機関】

特になし（申請医療機関なし）。

3 地域医療連携推進法人の認定に関する意見

新たな地域医療連携推進法人制度での画期的な取り組みであり、ぜひ積極的に進めていただきたい。